

平成22年度一般会計補正予算説明資料

3款 民生費

2項 児童福祉費

子ども発達支援課（内線：7151）

5目 児童福祉施設費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（新）鳥取県療育拠点強化事業（総合療育センター）	0	110,044	110,044	110,044				
トータルコスト	0	110,044	110,044	（補正に係る主な業務内容）				
従事する職員数	0.0人	0.0人	0.0人	機器の購入等施設整備				
工程表の政策目標(指標)	NICU（新生児集中治療室）等から障がいがある児を受け入れ、切れ目のない医療を提供し、在宅生活に向けて支援を行う 在宅生活中の重症心身障がい児（者）の希望が多い短期入所を受け入れるための体制整備							

【「住民生活に光をそそぐ交付金」充当事業】

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

総合療育センターにおける重症心身障がい児等の療育をより効果的に実施するため、医療機器等の施設整備を行い機能強化を促進する。

2 主な事業内容

項目	説明	事業費
(1) NICU受入関連施設整備	鳥大病院NICU（新生児集中治療室）から、重症心身障がい児を受け入れるために必要な機器を整備する。（超音波診断装置（カラー）、経皮血液ガス分圧測定装置等）	11,369千円
(2) 重症心身障がい児対応	入所児童の重症化に対応した医療機器等を整備する。（X線透視装置、パルスオキシメーター等）	21,252千円
(3) 検査・評価、訓練用機器整備利用者処遇向上	より正確な検査結果を得るために検査機器を更新・増強するとともに、利用者の負担軽減・処遇向上のための機器を整備する。（自動解析機能付多要素心電計、ストレッチャー、超音波骨折治療器等）	6,023千円
(4) 院内情報ネットワーク整備	医師からの診療内容（投薬、検査、リハビリテーション等）の指示を電子化して正確・迅速に伝達・処理するためのオーダーリングシステムを導入する。	71,400千円

（計） 110,044千円

3 これまでの取組状況、改善点

総合療育センターは本県の療育の拠点施設として障がい児療育にあたっており、所要の機器整備を進めてきたほか、本年4月より地域療育連携支援室を設けて鳥大病院を始め各機関との連携を強化している。

(1) NICU受け入れ関連施設整備

現在、鳥大NICUが常に満床状態となり、NICU入院児の退院先を確保することが喫緊の課題となっているため、総合療育センターで必要な機器を整備し、NICU入院児の受け入れを図る。

(2) 院内情報ネットワーク整備

現在医師は指示等を手書きで行っている。オーダーリングシステムを導入し、医師の指示等を電子化して院内の各部署で指示と同時に正確な処置等が行える体制とすることにより、待ち時間を減らして利用者の負担軽減を図るとともに、医師・看護師等の負担軽減を図る。